

平成 21年度

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	1473400487	事業の開始年月日	平成16年8月1日
		指定年月日	平成16年8月1日
法人名	医療法人 桜城会		
事業所名	グループホーム友愛		
所在地	(〒246-0037) 横浜市瀬谷区橋戸3-54-9		
サービス種別 定員等	☐ 小規模多機能型居宅介護	登録定員 通い定員 宿泊定員	名 名 名
	☒ 認知症対応型共同生活介護	定員計 ユニット数	9名 1ユニット
自己評価作成日	平成21年12月29日	評価結果 市町村受理日	平成22年4月2日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

家庭的な雰囲気と自由な気風

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	株式会社 R-CORPORATION		
所在地	221-0835 横浜市神奈川区鶴屋町3-30-8 S Yビル2F		
訪問調査日	平成22年1月9日	評価機関 評価決定日	平成22年2月28日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

このホームの特徴 ①このホームの経営母体は医療法人桜城会であり、桜城会は、このグループホーム友愛の他、妹さんの経営する歯科医院を展開している。ロケーションは相鉄線・瀬谷駅より徒歩15分位のところで、境川に沿った住宅地の中にある。近くには幼稚園、公園などが点在し、落ち着いた環境である。二階建て1ユニットの民家の改造ホームで、家主さんは地元企業の社長さん、以前には地元に関係の深い方が住んでいた所でもあり、地域との密着は強いものである。ご利用者の人格を尊重した理念を定め、それに沿った家庭的な雰囲気の中で自立支援を行っている。理念は、この度の定款の変更で、地域に関する点を加味して展開している。 ②地域との関係では、自治会、老人会には当ホーム自体とご利用者個人が入会しており、老人会主催の「誕生会」で歌を歌ったりしている。近くにある幼稚園の行事では「もちつき大会」「夏祭り」などにお誘いがある。運営推進会議は現状、年2回程度の開催にとどまっているが、地域との関係は上記老人会などとの関係も良好であり、付き合いも度々あるため回数は少な目のままとまっている。メンバーは町内会長、民生委員、それに管理者とケアマネが中心である。ご家族の縁の薄い方が多く、ご家族の参加はほとんど無いが、ご利用者の中に比較的軽度の人がいるので参加している。ご利用者の中で近くの医院にリハビリに行き、近所の方と仲良くなり、その近所の人遊びに来るなど地域にとけ込んでいる。※横浜市のグループホーム連絡会の旭区、瀬谷区の分科会では役員を務め、地域のグループホームの管理者、経営者との横の連絡も深い。 ③ケアについては、介護計画はセンター方式で行い、アセスメントは職員と一緒にカンファレンスを開き、ケアマネジャー（非常勤）が纏める形式を取っている。ここの特長は職員のコミュニケーションの良さであり、家庭的な良い雰囲気がある。常に話し合いを持ち、建設的な意見が出され、お互いに助け合って、なごやかな気分が満ちている。食事の献立は、ご利用者たちで決めており、栄養士さんから指導を受け、片寄らないよう配慮している。ご家族の縁は薄いですが、ご利用者で意見を言える人も多く、アセスメント等もご利用者から聞き出せることもある。職員のコミュニケーションのため年2～3回は懇親の会を持っている。医療についても御殿山クリニックの協力により、月2回の応診、歯科は毎週の応診を実施している。
--

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ～ 14	1 ～ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ～ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ～ 35	9 ～ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ～ 55	14 ～ 20
V アウトカム項目	56 ～ 68	

事業所名	グループホーム友愛
ユニット名	

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の
			2, 利用者の2/3くらいの
			3. 利用者の1/3くらいの
			4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある
			2, 数日に1回程度ある
			3. たまにある
			4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安な区過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ全ての家族と
		○	2, 家族の2/3くらいと
			3. 家族の1/3くらいと
			4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1, ほぼ毎日のように
		○	2, 数日に1回程度ある
			3. たまに
			4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1, 大いに増えている
		○	2, 少しずつ増えている
			3. あまり増えていない
			4. 全くいない
66	職員は、活き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が
			2, 職員の2/3くらいが
			3. 職員の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が
			2, 利用者の2/3くらいが
			3. 利用者の1/3くらいが
			4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が
			2, 家族等の2/3くらいが
			3. 家族等の1/3くらいが
			4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
Ⅰ 理念に基づく運営						
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	常に家庭的な雰囲気を保ち、父、母と接する様な関係を心掛けている。	理念は王城会としてコンサルタントして作成・登録されたものである。理念に基づき常に家庭的な雰囲気を保ち、父、母と接する様な関係を心掛けケアに努めている。	今後の継続	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の老人クラブにも加入し、毎月、参加している。	地域の老人クラブにも加入し、毎月、参加している。老人クラブに主催の花見などにも参加している。	今後の継続	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	旭区との合同での事業等で、地域に向けて認知症って何だろうのミニ演劇をした。			
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	行事や地元の催事にも参加して下さいとの事。	運営推進会議は年2回程行っている。メンバーは町内会長、民生委員、利用者2名と管理者、ケアマネで行っている。家族の縁の薄い方が多く、ご家族の参加は無い。前回の運営推進会議で、行事や地元の催事にも参加して下さいとのお申し出があった。	今後の継続	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	特に急変したり、病状に合わせたケアを報告している。又、担当者の面会に来て下さっている。	特に急変したり、病状に合わせたケアを生活保護担当へ報告している。又、生活保護担当者の方は面会に来て下さっている。横浜市とはホーム新設の関連で連絡がある。グループホーム連絡会の会合・研修には出席している。横浜市のグループホーム連絡会の旭区、瀬谷区の分科会では役員を務め、地域のグループホームの管理者、経営者との横の連絡も深い。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	新人教育等で身体拘束のみならず、言葉の拘束やいじめの禁止の指導している。	新人教育等で身体拘束のみならず、言葉の拘束やいじめの禁止の指導している。住宅地にあり、帰宅願望の強い人がいるのでご家族の同意も得て施錠している。	今後の継続
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	同上		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	瀬谷区社協に入会し、その様な指導をうけている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	利用者の家族や市の職員立合いの元で契約している。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	意見箱を設置しているが、近くの入居者の家族など、面会時その様な意見を聞く様にしている。	意見箱を設置しているが、近くの入居者の家族など、面会時その様な意見を聞く様にしている。利用者本人から直接意見を聞くことも多い。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	会議の時や、何か問題が発生した時すぐ、管理者に話せる場と人間関係になっている。	会議の時や、何か問題が発生した時すぐ、管理者に話せる場と人間関係になっている。年に2～3回は外で飲みながら話してもらっている。職員はお金よりこの仕事が好きな人が多い。	今後の継続
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	昇給に反映したり、食事会やレクレーションなど行い、除々にではあるが、労働条件に改善に努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	ヘルパーの資格取得や市の研修等に参加させている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	地域のGHと常に連絡や管理者等の悩みや、不安や空室情報など連絡し合っている。		
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	特に、その人の性格に合った人を担当者として不安や悩みを解消している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	認知症の初期症状を理解していない事が多いので、具体的に理解して頂ける様、説明している。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	同上		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員と入居者も家族と思い生活している。（理念も）		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	同上		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今迄、つき合ってきた方が、面会に何時来ても良い様にし、宿泊しても良い様にしている。面会・手紙・電話他	今迄、つき合ってきた方が、面会に何時来ても良い様にし、宿泊しても良い様にしており、泊まっていく友人もいる。面会・手紙・電話他は自由に行っている。ここを自宅と思って生活を楽しんでもらうことを目指している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	まず、出生地同士や故郷同士仲良くし、仲間意識を持って行く様、努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	前例がないが、その様にする。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	個人外出や個人買い物等で検討している。	個人外出や個人買い物等で検討している。分からない人は2～3名で後は分かるので自分の意見を云うので要求は満たすようにしている。	今後の継続
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	特に一人でテレビや映画が見たい方などには、その様にしている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	特に食事や体調の訴えがあれば、ずらしたりして、現状に合わせている。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ケア会議を基本に介護計画を作成している。特記したい項目がある場合は、併せて親しい担当者の意見も聞いている。	ケア会議を基本に介護計画を作成している。特記したい項目がある場合は、併せて親しい担当者の意見も聞いている。	今後の継続
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	同上		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	入居者にあわせた、外出や散歩、リハビリをしている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	同上		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	その様な関係のクリニックに受診していただいている。	ここの主治医である御殿山クリニックに2週間に1回受診して頂いている。歯科は同じ王城会の歯科クリニックが毎週往診に来ている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ドクターとの連絡帳でとりかわしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	応診のD r との連絡や病院等に出向いて、万一のときの相談をしている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	家族の意見や万一の時の対処法を相談したり、文書で取りかわしている。	ご家族とは同意文書で取りかわし、家族の意見や万一の時の対処法を相談し、終末期の直前には医師を交えて方針を決めている。	今後の継続
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	マニュアルにての訓練を実施している。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	目立つ様にマニュアルを確認し、消防訓練を実施している。	目立つマニュアルを設置し、災害時にはそれを確認する想定で消防訓練を実施している。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価		
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援						
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	理念にもあり、その様に実施している。	理念にもあり、その様に実施している。	今後の継続	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	特におやつ時にその様にし、自己の好きなものを出している。			
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	風呂の順番や入浴が嫌いな方には、特にそうしている。			
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	ヒゲそりや理容は、その方らしい様に支援している。			
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食事準備や片付けは、出来る方に手伝っていただき、その人の重要感をみたしている。	食事は利用者の希望を聞き、独自のメニューで職員が工夫して作成している。食事準備や片付けは、出来る方に手伝っていただき、その人の充実感を満たしている。	今後の継続	

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	市の栄養指導を受け、水分や塩分をその人のバランスに応じた対処をしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	自分で出来る方には、声掛けをし、そうでは無い方には支援し、週に一度歯科の指導も受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	一定時間を記入し、声掛にて支援している。	バイタルチェック表により、その人毎のパターンを確認し、一定時間を目安に声掛けして支援している。極力便器に座らせるよう、尿意・便意が維持出来るよう支援している。	今後の継続
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	同上		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	特にキライな方には、おしつけず、長風呂の好きな方にはそうしている。	特にキライな方には、おしつけず、長風呂の好きな方にはそれなりに支援をしている。	今後の継続

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	特に眠りたい方には、要望どうりにし、昼夜あまり間はない様にしている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬の管理は、毎日一日の分をホームにて整理し、食前、後、服薬している。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	食事、おやつ、外出等で気分転換を図っている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	家族との外出はもちろん、希望者には、個人外出をしている。	家族との外出はもちろん、希望者には、個人外出をしている。月に1回は外食している。（スシロー、夢庵、サイゼリアなど）健康組みの散歩コースも設定している。	今後の継続
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	現在は、所持するに理解できない方が多いので、時をみてその様な支援にしたい。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	出来る方には、年賀状などの支援をした。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居者も応援してくれるので、その様にしている。	入居者も応援してくれるので、その様にしている。季節の飾り付けは低くて見やすい冷蔵庫の上になっている。小さな、季節を感じる、職員の好みのものが飾られている。	今後の継続
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	特に喫煙者が喫煙所がその様になっている。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の慣れたものを持参しその様にしている。	本人の慣れたものを持参しその様にしている。	今後の継続
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	漬け物や、かべかけなど個人の作品を工夫し、利用させて頂いている。		

目 標 達 成 計 画

事業所

グループホーム友愛

作成日

〔目標達成計画〕

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
		職員の介護レベルが均一でなく、教育不足である。	より高い介護を目指す。	認知症の購議や研習に計画的に参加させスキルアップを図る。	1 年間

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。